

一 般 質 問 通 告 書

原村議会議長 芳澤 清人 様

※受付番号 令和 年 月 日

原村議会議員 半田 裕

質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
住民との協働によるむらづくりの推進を	原村むらづくり生涯学習推進本部の活動状況は。	村長
	この制度は住民との協働において有効だと考える。今後の展望は。	村長
	協働のひとつとして村の課題解決につながる住民活動への支援がある。 住民プレゼンテーションなどを行ない、段階に応じて村が必要な支援を行うような仕組みが必要と考えるがどうか。(広報の協力、活動資金の補助、村と連携をした事業実施など) <参考> 茅野市みんなのまちづくり支援事業、SUWAを磨くまちづくり支援事業	村長
十分な機能を有した子ども・子育て支援センターの検討を	村が子ども・子育て支援センターを建設する目的は。「子育てサロン・原っ子広場の場所不足の解消」「相談機能等子どもに関する事業の一元化」だととらえていたが間違いないか。	村長 教育長
	原っ子広場が入っていないなど、今回の基本設計では上記目的を達成するには不十分だと考える。十分でない施設では利用がされなくなってしまう。必要があれば2階建てにすることや、平地に立てることなど検討すべきだと考えるがどうか。	教育長
	一元化が難しいのであれば、答申内容で達成できない機能について既存の施設等を活用しての実現は検討されているか。	教育長
	すべての機能を達成できない中では住民との十分な検討の場が重要だと考える。実施設計にあたり検討委員会の必要性を強く感じるがどうか。	教育長
	令和元年第2回定例会にて児童館としての検討もするとの答弁があった。これまでどのような検討がされているか。	教育長